



山口としや 通信 第32号

石川県にも夜間中学校を

「教育機会確保法」(正式名称:義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律)に明記されている夜間中学校の勉強会に参加してきました。

各都道府県に最低一校の設置が義務づけられている夜間中学校ですが、行政はニーズがないと消極的です。しかし、丁寧にニーズ調査を行うと、戦後の混乱期に就学できなかった方を初め、元不登校の方や外国にルーツを持つ方などニーズが見えてくるとのことです。岡山市で自主夜間中学校を開催している城ノ内庸仁さんによると、岡山市では約 200 人の方が学ばれているとのこと。

石川県、白山市でも必要としている方が必ずおられ、設置が急務と実感しました。



街宣活動、がんばっています。
連合石川「36協定の日」街宣

2020年2月議会報告

SDGsの普及に市民の力を

(質問) SDGs (国連が掲げる持続可能な開発目標)の普及は。

→ (市長) 講演会や各種イベントを通して周知を図っている。また、推進大使の「ぶんぶんボール」が小学校で出前授業を行うなど、徐々に認知度をあげているが、まだまだ広く理解が進んでいない状況である。来年度より「SDGs・地方創生推進室」を新設し、組織の強化を図る。産学官民が連携し、取り組み、より一層の普及

啓発を進めたい。

(質問) 一定の研修を受けた市民をSDGs市民サポーターとして認定し、普及への力添えをいただければ。

(市長) SDGs未来都市の実現には、市民参画による取り組みが重要。SDGs市民サポーター認定制度については、積極的に取り組んでいる、富山市や宇部市の例を参考に研究していきたい。

としやチェック SDGsの取り組みは市民との連携や市民参画が大事ですし、そのことがないと進みません。市民が参加できる制度として、市民サポーター制度は効果があると考えます。

美川漁港の維持・発展のために

(質問) 美川漁港の航路の確保の責任者は。

→ (市長) 航路確保の責任者は、白山市で国土交通省の協力をいただいて航路の確保を実施している。美川水門は国土交通省が維持管理を行っている。

(質問) 当初予算に美川漁港のしゅんせつ、掘り下げる工事費として2000万円盛り込まれているが、今年の冬は土砂の体積が多く、この金額で、漁港の最低条件、深さ2mまでしゅんせつし維持できるのか。増額が必

要では。

→（市長）今後、堆積状況等を注視しながら、必要な場合には補正予算等で対応していきたい。



手取川の河口閉塞に苦しんでいます。

（質問）もっと早い時期からしゅんせつをするのが市の責任ではないか。

→（産業部長）しゅんせつする際は国・県との協議が必要、石

川県漁港美川支所とも協議をしているが、発注業務があり遅くなる。今後少しでも早

く発注できないか工夫したい。

漁港の美川支所からは、感謝の言葉はいただいている。

（質問）市長が必要なら補正予算で対応したいと言っているのですが、2000万円にこだわらず、しゅんせつしてほしい。

→（産業部長）年に3回以上のしゅんせつの際は補正予算で対応している。

（質問）過去に活用して効果があった水中ブルドーザーを再び活用しては。

→（市長）過去に活用したのは、国土交通省との連携で使用させていただいたもの。

機材の確保やしゅんせつ時期の調整、費用が2倍以上かかるなど、市の活用には課題が大きく、国との連携がないと難しい。



美川漁港は本市唯一の漁港で、水揚げされる鮮魚は大変人気が高いです。近年土砂の堆積が多くなり、出港時期が遅くなっています。管理者としての責任をこれからも果たしていくよう求めていきます。

子どもの健やかな成長のために

（質問）国が虐待防止、子育て支援のために設置を求めている「子ども家庭総合支援拠点」の本市の設置予定は。

→（市長）全ての子どもとその家族及び妊産婦を対象に相談支援をはじめ情報の提供、調査、指導など必要な支援を包括的、継続的に行う「子ども家庭総合支援拠点」は、2022年度までに設置できるよう取り組んでいく。

（質問）どのような機関に拠点を置き、どのような機関が連携するのか。

→（市長）市の要保護児童対策地域協議会を通じ、児童相談所や保健所、医師会、警察署などの関係機関との更なる連携を図る。

→（健康福祉部長）現在、子ども相談室や子育て世代包括支援センター等が中心となって支援を行っている。22年度の設置を目途に準備を進めており、運営や組織の協議を進める中で、どういう機関が拠点として適切なのか決めていきたい。

（質問）虐待に至る前の支援が重要だが、2年前につくった子育て世代包括支援センターとの関係はどう考えているのか。

→（市長）拠点の設置後は、一体的に進め

ていく。

（質問）この制度は、国は学校教育と福祉の連携をきちんとやれと言っているように感じる。教育と福祉の連携についてどのような構想を持っているのか。

→（市長）子ども相談室や教育センター子育て世代包括支援センターなどとの連携を図る中で、迅速かつ適切に対応している。教育と福祉の連携は極めて重要と認識している。

→（教育長）子ども相談室は、教育委員会と健康福祉部双方に所属しており、教育センター子育て世代包括支援センターなどとの連携を図る中で、迅速かつ適切に対応している。今後とも、福祉だけでなく医療や保健、警察など幅広い関係機関との密接な連携の中で対応していく。

（質問）スクールソーシャルワーカーを1名から2名に増員する予定と聞くが、スクールソーシャルワーカーがきちんと機能するのか。

→（教育長）スクールソーシャルワーカーは教育センターに所属しているが、子ども相談室や子育て世代包括支援センターとの会議に参加している。

(質問) 学校現場の体制はできているのか。
→ (教育長) 学校にある様々な課題を外部の機関や外部の人たちに協力を得ながら解

決する必要がある。いろいろな機会に学校長に話しをしていきたい。



国は 2022 年度までに子ども家庭総合支援拠点を整備するよう求めています。現在の本市の子育て支援が更に拡充するよう、制度をうまく利用できるよう提案していきます。

ウルトラマラソンを応援しやすくしよう

(質問) 参加者を増やすことも大事だが、選手の家族や友人に応援に来ていただくことも大事ではないか。どこを走っているかわかるようすべきでは。



スタートを待つ選手たち、声援が力になります。

→ (観光文化スポーツ部長) ご家族や応援

される方々にどこを走っているのかわかる大会にしたいと認識している。現在導入しているシステムについて、携帯電話ではありますが、10km ごとに通過したことがわかるようになってきている。今後は、そのシステムの利用方法について広く周知していく。

(質問) 次にゴール選手は誰かわかるように大型液晶画面を活用しては。

→ (観光文化スポーツ部長) ゴール手前 98km 付近を通過した選手について、大型スクリーンでの表示を検討しており、おおよそのその選手のゴール時間がわかる。選手の家族や友人の応援は大変重要。今後も大会にお越しいただいた方々に喜んでいただけるよう取り組みたい。



白山白川郷 100km ウルトラマラソンは過酷な大会と評判ですが、近年参加者が減少しています。暑さ対策も必要ですが、応援者への配慮も必要だと考えます。

学校の多忙化は解消する?

(質問) 県内の講師登録者は100名程度減少したと聞いているが、講師不足にならないのか。

→ (教育長) 4月から学校において担任がいらない、教科の先生がいらないという状況にならないよう、県に強く働きかけ、要望していきたい。

(質問) なぜ、減少しているのか。

→ (教育長) 教員採用試験の志願者数の減少と、大量退職による大量採用によって講師の絶対数の不足や、介護等の理由で再任用を希望しないことが原因と思う。

(質問) 教員採用試験の志願者はなぜ、減

少しているのか。

→ (教育長) 働き方改革をやってはいるが、なかなか進まない。その中で将来のことを思って受けない、特に女性が受けないと聞いている。

(質問) 国において、給特法が改正された。改正内容の1つは、勤務時間の上限規制、時間外労働時間は多くても月45時間以内、年間360時間以内にするのを盛り込み、法的拘束力を持ったこと。もう1つは変形労働時間制が自治体で選択し、導入できるようにしたことです。上限規制は今年の4月から、変形労働時間制は来年の4月に施

行と聞いている。本市の対応は。

→（教育長）県の動向を注視していきたい。

（質問）県は3月議会では条例化しないと聞いていますが、県に追随して良いのか。

→（教育長）文科省の初等中等教育局の方が来られて、県が条例をつくった上で、市町村で判断していただくことになると言われており、県の動向を見たい。

（質問）法にのっとって行政を行うべきと県に申し出が必要では。

→（教育長）県内どこも動いていない。私は平均的なところで行きたい、飛び抜けて何でもやらない。

（質問）年間360時間以内に残業を減らすには、学校研究・校内研究の簡素化が必要では。また、指導主事の派遣要請を断るべきでは。

→（教育長）指導案を学校内で共有するなどして、工夫していきたい。また、学校現場が必要として指導主事の要請をしてくているので、断ることはできない。

（質問）中学校における長時間労働の最大の原因は部活動。全員入部制を改め任意加入にし、部活動数の削減を行うべきでは。

→（教育長）全員入部制に関しては、部活動の社会体育への受け入れの整備状況を見ながら考えたい。部活動数については、生徒数が減少している学校では部活動数の削減を考えていく必要があると思っている。部活動の社会体育への移行や部活動数の削減は、これからの流れであると捉えている。

（質問）標準授業時数についての認識は。

→（教育長）学習指導要領で示している各教科等の内容を指導するのに要する時数を基礎とし、学校運営の実態などの条件も十分考慮しながら定めたもので、各学校にお

いては、標準時数を踏まえて授業時数を設定している。不測の事態に備えることのみを過剰に意識して標準授業時数を上回って教育課程を編成する必要はないと考えている。

（質問）新型コロナウイルス対策で休校となっているが、授業の振り替えは標準授業時数を考えても最小限にすべきでは。

→（教育長）学習に著しい遅れが生じないように、可能な限り家庭学習を適切に課すなど必要な処置を講じたい。

（質問）白山市の平均で、標準授業時数に対して、小5で64単位時間、中1で82単位時間多く授業している。各学校で標準事業時数の考え方の徹底と、来年度は標準授業時数を超えないよう教育課程をつくる指導を。

→（教育長）校長会議等を通じて学校に対して適切な対応をとるよう指示をしている。標準授業時数を大幅に上回る教育課程を編成する必要はなく、教育課程の編成、実施にあたって学校における働き方改革にも配慮した対応が重要。

（質問）各学校で編成した教育課程は教育委員会で把握するが、授業時数が余りに多かったら突き返すべきでは。

→（教育長）適切に対応していきたい。

（質問）いままで、長期休業明けの始業式の後、宿題の点検に充てていた時間を授業にし、学期末に成績をつけていた時間も授業にし、宿題点検も成績をつけるのも時間外で行っている。標準授業時数を大幅に超えている学校には指導を。

→（教育長）昨年から、授業をカットして、通知表をつけるなどの時間に当てて下さいと指導している。

（質問）休校になった今こそ、来年のために削減の話しを各学校で行うべきでは。

→（教育長）上意下達は面白くない、話し合っしてほしい。

（質問）聖域なく、全てを見直すよう。

→（教育長）言われる通りにやりたい。



大好きだった部活動も、曲がり角にきています。

→（教育長）全員入部制に関しては、部活動の社会体育への受け入れの整備状況を見ながら考えたい。部活動数については、生徒数が減少し

ている学校では部活動数の削減を考えていく必要があると思っている。部活動の社会体育への移行や部活動数の削減は、これからの流れであると捉えている。

（質問）標準授業時数についての認識は。

としゃチエック 教員の時間外労働時間の法による規制ができましたが、石川県では条例化せず、法による規制がかかりません。おかしな状況です。先生方の多忙がもたらす子どもたちへの影響が気になります。

※市政へのご意見、ご要望をお寄せください。

TEL：275-0179

e-mail：toshiya@y-toshiya.com

ホームページ：http://y-toshiya.com/

FAX：275-0924